

衆議院議長 大島 理森 殿
参議院議長 山東 昭子 殿
内閣総理大臣 菅 義偉 殿
外務大臣 茂木 敏充 殿
厚生労働大臣 田村 憲久 殿
国土交通大臣 赤羽 一嘉 殿
環境大臣 小泉 進次郎 殿
防衛大臣 岸 信夫 殿
沖縄及び北方対策担当大臣 河野 太郎 殿

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書

沖縄戦では、一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた。糸満市摩文仁の平和記念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられた、241,593名の氏名が刻銘されている。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、1972年の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し、戦没者の霊を慰めるために、自然公園法に基づき戦跡としてわが国唯一の「沖縄戦跡国定公園」として指定されている。同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた県民や兵士の遺骨が残っており、戦後76年を経過した今でも、戦没者の収骨が行われている。

基地問題に関わらず、先の大戦で犠牲になられた人々の遺骨が入った土砂を埋め立てに使用するのは人道上許されない。本市議会は人道上の立場から下記の事項を強く要求する。

記

- 1 沖縄本島南部地域からの土砂の採取計画を断念すること
 - 2 「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」の趣旨に準じて、日本政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月14日

四條畷市議会